

エリアブランディング構想（御幸の浜海岸・かまぼこ通り周辺）第2回研究会

1. 開催日時

令和7年（2025年）10月16日（木）18時00分から20時00分

2. 開催場所

小田原宿なりわい交流館

3. 出席者等

鈴木大助（小田原市漁業協同組合）※欠席

大浦航平（小田原市漁業協同組合）※欠席

飯田順彦（小田原箱根商工会議所/経営支援一課長）

野澤尚和（青物町商店会）※欠席

水野健太（宮小路商店会）

鈴木智博（小田原蒲鉾協同組合）

杉山勇人（小田原蒲鉾協同組合）

脇谷和孝（小田原かまぼこ通り活性化協議会/会長）※欠席

小西里奈（小田原かまぼこ通り活性化協議会/広報担当）

瀧澤千恵（小田原市観光協会/主事）

橘川健人（小田原ガイド協会/副会長）

川瀬香智子（小田原ガイド協会）

奥津英之（小田原サーフィン協会/常任理事）

竹田将俊（万年地区住民代表/万年地区青年会連合会長）※欠席

柏木隆良（幸地区住民代表/三の丸小学校PTA会長）※欠席

里見謙（松原神社明神会会長）※欠席

【事務局】

杉本将章（企画部/政策調整担当部長）

府川一彦（企画部政策調整課/課長）

長崎真治（企画部政策調整課/未来創造係/係長）

湯澤徹（企画部政策調整課/未来創造係/主査）

田村将洋（企画部政策調整課/未来創造係/主査）※欠席

五十嵐翔（企画部政策調整課/未来創造係/主事）

【庁内検討会議メンバー】

浅岡龍馬（小田原市商業振興課/主査）

湯川貴裕（小田原市観光課/担当監）

秋山真生（小田原市水産海浜課/主事）

吉澤元克（小田原市都市政策課/副課長）※代理出席

【業務受託者】

池田晃一（株式会社T I T）

田中大朗（株式会社T I T）

4. 資料

- ・ 本日の次第
- ・ 出席者名簿・レイアウト
- ・ 資料1 第2回研究会資料
- ・ 資料2 ゾーニング
- ・ 資料3 構想の基本方針
- ・ 資料4 各分野の取組
- ・ 資料5 関係者別調整スケジュール

5. 次第

- 1 挨拶
- 2 これまでの取組について
 - (1) 周辺観光地来訪者実態調査について
 - (2) ワークショップでの検討状況について
- 3 構想の検討状況について

- (1) ゾーニングについて
- (2) 構想の基本方針について
- (3) 各分野の取組について

4 意見交換

5 事務連絡

- (1) 今後のヒアリングについて
- (2) 第3回研究会について

6. 議題

■次第2 これまでの取組について

- ・ 配布資料「資料1 第2回研究会資料」に基づき、エリアブランディング構想（御幸の浜海岸・かまぼこ通り周辺）策定に向け、第1回研究会後から第2回研究会までに行ってきた取組を業務受託者より説明。

(質疑・意見)

なし

■次第3 構想の検討状況について

- (1) ゾーニングについて

配布資料「資料3 ゾーニング」に基づき、業務受託者より説明。

(質疑・意見)

小田原かまぼこ
通り活性化協議
会（小西）

企画部政策調整
課（長崎）

小田原かまぼこ
通り活性化協議
会（小西）

- ・ 東ゾーンについて「来訪者が住民の暮らしに触れられて」とあるが、具体的なイメージはあるか。普段は、西側は観光客が押し寄せてもまだ受け入れられる感じはあるが、東側は難しいのではないか。以前は丸うがあったので繋がりがあったが、現在は民家が多いため、観光客が増えることに抵抗を感じるのではないか。その結びつけ方はもう少し考えられるといいと思う。
- ・ 難しいところだと思う。ゾーンごとの顔つきが違うので表現は気を付けたい。新しい家が増えているのも確か。
- ・ つい最近引っ越ししてきた人を少なくとも2人は知っている。このエリアを気に入って住んでいる人は確かにいる。空家が出たら、1日体験居住ができるような取組があれば突破口にもなる

企画部政策調整
課（長崎）

宮小路商店会
（水野）

小田原かまぼこ
通り活性化協議
会（小西）

業務受託者
（TIT）

宮小路商店会
（水野）

業務受託者
（TIT）

小田原蒲鉾協同
組合（杉山）

小田原蒲鉾協同
組合（鈴木）

と思う。

- ・ 地域を知ってもらいながら、取り組んでいけるといいと思う。ワークショップ参加者も大半は移住者だった。
- ・ 一応ゲストハウスはあるが、宮小路商店街の中に観光客が楽しめる店はあるか。
- ・ 昼と夜の繋がりが難しい。
- ・ 今回の案は、現状というよりも将来目指す姿として作成している。宮小路商店街は、かまぼこ通りやお小田原城を見た後に寄り、買い物や食事を楽しむという理想を描いているが、商店街の方々の感触はどうか。
- ・ 商店街でもまさに同じようなことを話しているところだ。
- ・ 商店街にも改めてヒアリングをしたいと思うので、その際にもご意見いただきたい。
- ・ 東ゾーンは「暮らし、なりわい、観光が混在し」とあるが、やまじょう、わきや、いせかねの3軒と小さい商店がある程度なので、観光客を巻き込んだゾーンというよりも「暮らし」に特化してもよいのではないか。その方がまちづくりをしやすいのではないか。当初はこのゾーンで、かまぼこ通りを引っ張って欲しいという考えがあったが、駅から遠く、実際は難しい。各店舗ごとに魅力をつくっていかないといけないということで、“ちっくすパック”を商品化し、自身の体づくりにも取り組んできた。実際、東側は移住者も多くなっている。この3軒のために観光客を呼び込もうとしてもまちづくりとして難しい。住民に特化したゾーンとしてもよいのではないか。
- ・ このエリアでは、観光と生業を行っている。住民としては、このコンセプトを楽しめる人のみが住める、くらいに規制したほうがよいのではないか。鎌倉や熱海など、ライバルはたくさんあるので、ここで商業施設を運営しても仕方がない。全部楽しめる人だけがここに居られるようにし、そういう人だけが商売も入居もしてくれるようにしてはよいのではないか。人口が減っていく中で、志が高い人が中心となるべき。エリアのブランド価値を下げないためにも必要だと思う。

(2) 構想の基本方針について

配布資料「資料3 構想の基本方針」に基づき、業務受託者より説明。

(質疑・意見)

- | | |
|-------------------|--|
| 小田原蒲鉾協同
組合（鈴木） | ・ まとまっけていて良いと思う。わかりやすい。構想策定のさらに後かもしれないが、建物や制度をつくっていったら、実際は25年後、2050年くらいの視野で議論してきたつもりだ。次の課題として、25年後でもずっと魅力な、不変の魅力と、喫緊の課題とを分けながら、目線を合わせられたらと思う。喫緊の課題は市が対応するといったように、分けられるとよいと思った |
| 小田原ガイド協
会（橋川） | ・ 東海道の街道筋にあたる、この地区は恵まれている。東から西まで東海道をもっとクローズアップしていくと、他の地区に対してもわかりやすい魅力がある。西のかまぼこ屋から東までのつながりがあると良いと思う。分けて考えるのも良いが、やはりつながっているという考えも入れてはどうか。 |
| 宮小路商店会
（水野） | ・ ずっとこの地域に住んでいるが、人から話を聞くと私自身も知らない歴史がある。同じように、小田原の人でも知らないこともあるので教えてもらえるきっかけがあると良い。ワークショップなど、歴史を学べる機会があれば、家族で参加したいと思うし、嬉しいと思う。小田原のことを全然知らない方も多と思う。 |
| 商業振興課（浅
岡） | ・ 周知ができていないので良くないが、市内のまちかど博物館では、10月～12月、2月、3月にまちあるきを実施している。ガイド付きで市内の美味しいお店で昼食を取れるという素晴らしい企画。歴史などのガイドの方は慣れているので勉強になる。観光客よりも市民に参加してもらいたいと思うようになった。有料だがホームページで、まちかど博物館ツアーで調べると出てくるので、知り合いとか勉強したい人に参加してもらい、市の知識を深めてもらいたいと思う。 |
| 小田原蒲鉾協同
組合（鈴木） | ・ マップと基本方針を基にして、まち全体をRPGのゲームのようにしてはどうか。住民全員が主人公になって、1～3のコンセプトをみんなが語れるようにすると、観光客も自然と寄ってくると思う。まちが楽しくしていたら本当にRPGのように、絶対に観光客は来る。そんな絵がいいなと思いついた。東海道もそうだが、昔から東京から都心の人からすぐ来られる距離感があった。それ自体がチャンスだし、出会いも進んで、感情や人間としての原体験として人と話したいという思いがある。箱根に |

小田原かまぼこ
通り活性化協議
会（小西）

も人が来るように、距離が近いことは、小田原に人が来ることにつながると思う。RPGのような話があれば、心休まる魅力的な場所が既にここにあると思う。楽しくなってきた。

- ・ この構想は基本方針から、これを実際に落とし込んでいって建物や施設を市でつくるかと思うが、誰がどう引っ張っていくのか。企業などが進めるのか、市と一緒に進めるのか、実際にどう動いていくのかイメージがわからない。RPGもそうだが、ガイド協会のガイドの募集も勉強されているのは知っているが。もっと柔らかく、「おもてなし隊」みたいに、おばあちゃんや小学生でも「こんな話を知っている」みたいな柔らかい組織、ゆるい勉強や組織ができれば、「それなら私もできる」となると思う。かまぼこ通り東側のゾーンでも「私もできるわ」「お茶でもどうぞ」という取組ができると小田原のこの辺りの「らしさ」が出ると思った。

（3）各分野の取組について

配布資料「資料4 各分野の取組」に基づき、業務受託者より説明。

（質疑・意見）

宮小路商店会
（水野）

- ・ 子どもが生まれて気づいたが、乳児がいても安心して過ごせるとよいが、なかなかできない。そういう環境づくりを市がしてくれたりと思う。お店との協力は必要だが、飲食店とか図書館とかにそういうマップがあるとよいと思った。おむつを替えられる場所があったらよい。

宮小路商店会
（水野）

- ・ ランニングステーションとあるが、現在、海は走れない。走るとしたら道になる。以前横須賀に住んでいたが、片道1km、海を見ながら走れるところがある。小田原も海を見ながら走れたら人が来ると思う。海辺のゾーンに通じることかもしれないが。

■次第4 意見交換

次第1～3に基づき、意見交換を実施。

（質疑・意見）

小田原かまぼこ
通り活性化協議
会（小西）

- ・ 各分野の取り組みについて、どれも細かく見たが、急務なものと、ゆくゆくのある事があると思う。急務なものは急ぐべきことがあればすぐに進めることはできるのか。

企画部政策調整課（長崎） 小田原かまぼこ通り活性化協議会（小西） 企画部政策調整課（長崎）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 急務なことについては、ご意見はいただいて、所管に伝えたい。 ・ いくつかある。ずっと先でなく直ぐ必要なものがある。
小田原かまぼこ通り活性化協議会（小西）	<ul style="list-style-type: none"> ・ これをもとにヒアリングしていくが、「誰が」については行政・地元などいろいろある。「いつ」については、短期・中期・長期で分けて整理していきたい。すぐに行政ですべきことは持ち帰りたい。 ・ 急いだ方が良いことを抽出できていると良いのではないか。
小田原サーフィン協会（奥津） 企画部政策調整課（長崎）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 取組の内容は全て意見をもらっているので充実していると思うが、最終的にマップに落とし込むようになるのか。 ・ 落とし込み方はこれからだが、早川エリアの構想策定時はパースなどの絵で表現した。
小田原サーフィン協会（奥津）	<ul style="list-style-type: none"> ・ どこで何をしているかとか、詰めていけばよいのではないか。このピックアップされたものを画像で描いて、アンケートやヒアリングでも「このまちがこうなっていく」とわかると「これがいいね」という意見が取りやすいと思った。
業務受託者（TIT）	<ul style="list-style-type: none"> ・ ゾーンごとに将来像のパースをつくることも考えている。取り組みもゾーンごとを想定している。場所に落とせるものは落としていきたい。

■次第5 事務連絡

（1）今後のヒアリングについて

- ・ 配布資料「資料5 関係者別調整スケジュール」に基づき、政策調整課より説明。

（2）第3回研究会について

2月9日～13日の間で調整予定

（質疑）

小田原蒲鉾協同組合（鈴木）	<ul style="list-style-type: none"> ・ この研究会のメンバーは、ずっと小田原を見られてきた方々で、50年先まで関わられる方々だと思う。もっと小田原のまちに住み、まちのためにと思われている。長期の視点で我々ならではものを出せたらと思う。策定していくものと計画書とで
---------------	---

どういう差があるのか、変わらないと思い始めた。せっかくなので、この「ならでは」の小田原をどう残していくかについても考えていけたらと思った。

小田原ガイド協会（橘川）

・ 「かまぼこ通りかまぼこ」みたいなものはできないか。ここに来ないと買えないもの、ここに来たらあるものがないか。

小田原蒲鉾協同組合（鈴木）

・ 「生（なま）感」が重要だと思う。シーズン限定のものがないというのをちょうど組合の会議で話していた。

小田原蒲鉾協同組合（杉山）

・ “ちっくすパック”で体づくりしたい人に対しては、生かまぼこを販売している。瞬間冷凍をかけるのが普通だが、それをしていないものを置いている。

小田原ガイド協会（橘川）

・ 小田原のかまぼこはおいしいと思う。地方の人に送るとそう言ってくれる人もいる。江戸時代からあるのだから、こんな良いものがあるのにもったいないと思う。

小田原蒲鉾協同組合（鈴木）

・ 組合全体で頑張りたい。

以上